

平成 26 年度前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 期待する生徒像

学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取り組みを行った者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5 教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 面接	面接の結果を資料とする。
(4) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評 価 項 目	評 価 基 準
5 教科の得点合計	5 教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評 価 項 目	評 価 基 準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式 1 により求めた値で評価する。 評定 1 の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	① 3 カ年皆勤については評価する。 ② 各学年において 20 日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が 2 個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

(3) 面接

評 価 項 目	評 価 基 準
面接の内容等	面接官 3 名で 5 名の受検生に約 15 分間の集団面接を実施し、各面接官が a ～ c の 3 段階で評価する。さらに総合評価として A, B の 2 段階で評価する。評価 B は審議の対象とする。

(4) 志願理由書

評 価 項 目	評 価 基 準
志願の理由	総合的に判断するときの資料とする。
自己アピール	総合的に判断するときの資料とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「面接」、「志願理由書」等を総合的に判断して入学許可候補者の選抜を行う。

「学力検査の得点」、「調査書の得点」の総合計により順位を付け、調査書・面接で審議対象となる点がある場合は慎重に審議しながら、入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人面談を行い、話を聞く機会を設ける。

平成 26 年度前期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号 2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 期待する生徒像

学習成績が優秀で、中学校生活全般にわたり特に積極的な取り組みを行った者。
家政科を希望する動機が適切で、家庭科の授業に興味や関心がある者。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5 教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。
(3) 適性検査	適性検査の結果を資料とする。
(4) 志願理由書	記載内容を資料とする。

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評 価 項 目	評 価 基 準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評 価 項 目	評 価 基 準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式 1 により求めた値で評価する。 評定 1 の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	① 3 カ年皆勤については評価する。 ② 各学年において 20 日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が 2 個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

(3) 適性検査

一斉形式による適性検査（小学校・中学校で学習する被服に関する実技を伴う検査）
を 30 分実施し、60 点満点で評価する。

(4) 志願理由書

評 価 項 目	評 価 基 準
志願の理由	総合的に判断するときの資料とする。
自己アピール	総合的に判断するときの資料とする。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

本校の「期待する生徒像」に基づき、「学力検査の成績」、「調査書」、「適性検査」、「志願理由書」等を総合的に判断して入学許可候補者の選抜を行う。

「学力検査の得点」、「調査書の得点」、「適性検査の得点」の総合計により順位を付け、調査書で審議対象となる点がある場合は慎重に審議しながら、入学許可候補者を内定する。

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。

5 その他

過年度生については、個人面談を行い、話を聞く機会を設ける。

平成26年度後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3カ年皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、すべて審議の対象とする。B組の順位付けは算式2を利用する。
--

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。
--

4 その他

過年度生については、個人面談を行い、話を聞く機会を設ける。

平成26年度後期選抜の選抜・評価方法（予定）

学校番号2

千葉県立千葉女子高等学校 全日制の課程 家政科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の成績を資料とする。
(2) 調査書	全教科の評定を含む記載事項を資料とする。

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科の得点の合計により評価する。

(2) 調査書

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	全教科の評定の合計値を算式1により求めた値で評価する。 評定1の教科がある場合、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	①3カ年皆勤については評価する。 ②各学年において20日以上欠席がある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○の数を評価する。○が2個以下の場合は審議の対象とする。
エ 特別活動の記録 部活動の記録 特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については評価する。
オ 総合所見	総合的に判断するときの資料とする。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

公立高等学校入学者選抜実施要項に従い、A組となる者は入学許可候補者とする。A組に属さない者はB組とし、すべて審議の対象とする。B組の順位付けは算式2を利用する。
--

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜のための資料に加え、提出されたことにより、不利益な取扱をすることがないように十分に留意する。
--

4 その他

過年度生については、個人面談を行い、話を聞く機会を設ける。
